

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	マジョリティ・パワー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.570	△RG	0.035	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：マジョリティ・パワー

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：マジョリティ・パープル

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

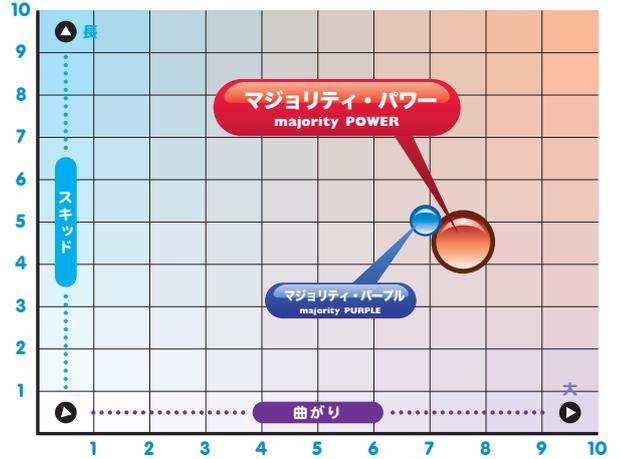
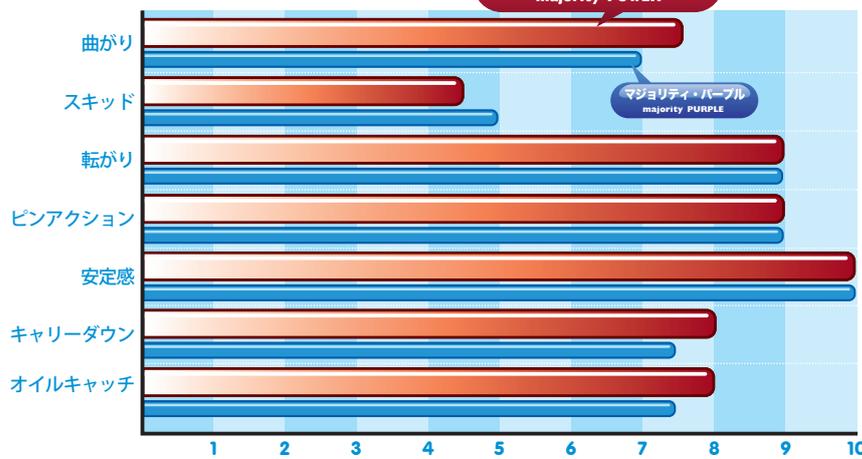
4 インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

カバーストックの領域表記はユーザーにとって大きな判断材料となりますが、PRO-amはそれを分かりやすくする課題に取り組んでおり、HERITAGEから表記を一本化しています。現在PRO-amモデルでは3種類のベースを使用していますが、その中で領域を作ることによってパフォーマンスを変化させています。それが"ION" "FUSION" "ATOM"です。IONは最もオイルの中での反応とフック力が強く、ヘビーオイル向けです。FUSIONはミディアムブレンドで中間の曲がりと強さを持ちます。ATOMは最もクリーンな走りを基調としていて、スキッド&フリップタイプに使用します。この3種類をベースに特殊添加剤を加えて"84" "86"や"x0" "x1"に微調整をしています。今回のmajority Powerは86x0 Fusion Pearlカバーストックを採用していて、ミディアムブレンドのため今までのmajorityの中では一番キャッチするモデルとなります。

majorityは今までファーストボールからのボールチェンジで使われることが多く、そこに特化したイメージもあったので、初めてのテストングでは驚きもありました。コアの慣性もやや高めで△RGも低めなので、走るカバーにすることで遅めのコンディションにはよくマッチングしました。今回はカバーが強くなったことで通常のコンディションから使用できるようになったにも関わらず、先入観で通常のコンディションでは物足りないのではないかと感じていたのですがなかなか扱いやすく、劇的には曲がらないものの実用性が高く、バランスは良く思えました。転がりが最後まで持続しながら曲がるので、対称コアならではの曲がりの素直さでラインが取れると思います。

特記事項

今までのmajorityシリーズの中で一番キャッチが強いモデルの発売です。
持続的かつ、安定したラインが描けるので一投目から十分活躍してくれるスペックでしょう。